



## お福わけ。

たとえば、庭で採れた新鮮な野菜。  
食べきれないほど収穫できたら、ご近所にもおわけする。  
昔ながらの、とても豊かな習慣です。  
この「お裾わけ」、実は「お福わけ」とも言います。  
「福」の一語で、自然の恵みを大切にし、無駄にせずわけ合う、  
そんな豊かな気持ちが、一層伝わってくるように思いませんか。  
スウェーデンハウスも森からわけて頂いた木から生まれる家。  
自然からの恵みを絶やすことのないよう、  
木材もエネルギーも、使うのは人にちょうどいい分だけ。  
自然と寄り添う良い関係を、私たちは末長く大切にしていきます。

時を超えて自然に寄り添う家を。

# The Performance For Our Planet

この星のための性能。